

休日夜間在家当番医のお知らせ

1月下旬から2月の休日夜間在家当番医は下表のとおりです。内、外科とも原則的には午前9時から午後5時までですので、その時間内に受診してください。

時間外でやむを得ないときは、当番医の変更の有無を役場へ確かめてから受診してください。

〈内科〉 〈外科〉

月日	医院名	電話番号	医院名	電話番号
1/26	小林 医院	(2)0562	岩崎 医院	(2)1122
1/27	堀 医院	(6)2133	金井 医院	(2)0116
1/28	杏仁堂 医院	(2)0123	寺師 医院	(2)0137
1/29	富田 医院	(6)2226	石川 医院	(6)2140
1/30	星野(弘) 医院	(2)0998	佐々木 医院	(2)2357
1/31	山喜 医院	(2)0646	岩崎 医院	(2)1122

◆照会は中之島村役場 ☎02586-6-2002
◆救急車の要請は与板郷消防署 ☎025872-2572

地方産業育成資金

12月20日より貸付利率を引き下げ

- 県保付 現行 年7.50%→年6.75%
- その他 現行 年8.00%→年7.25%

働きながら 高等学校教育を

働きながら高等学校教育を受けることができる定時制・通信制課程の生徒を次により募集します。

■募集する学校

定時制 県内の公立高等学校26校
通信制 新潟高等学校(新潟市関屋下川原町二)
高田南城高等学校(上越市南城町三)
の2校

■応募資格

- 昭和56年3月に中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業する見込みの者
- 中学校若しくはこれに準ずる学校を卒業した者
- 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者
- ※年齢・性別を問わない。

■願書提出

次の期間内に応募する学校へ
定時制 2月2日~2月9日(正午)
通信制 2月20日~4月10日

■学力検査(定時制課程だけ)

昭和56年3月16日(月)
国語・数学・英語・社会・理科について全日制と同時に実施する。

■その他

- 定・通両課程とも修学奨金の貸与及び所得税勤労学生控除の制度等がある。
- 通信制課程では、希望する一部科目のみの学習もできる

■問い合わせ

出願手続……出身中学校
学習内容等……出願する高等学校
その他……県教育庁高等学校教育課
(新潟第一番堀通町5924)
☎0252-23-5511
(内線 3664・3665)

心配ごと相談
(行政・人権相談も含む)

○毎週火曜 午後1時~4時
○中之島村公民館

広報 なかのしま

1月号 南蒲原郡中之島村役場

編集と発行 中之島村役場企画課
〒954-01 ☎02586-6-2002

人口のうごき

12月31日現在

() 内は前月比
人口 11,256人 (+9)
男 5,515人 (+4)
女 5,741人 (+5)
世帯数 2,238戸 (+2)

今月の納税

▷固定資産税(第4期分)

▷国民年金保険料(第4期分)

▷保育料(1月分)

樹内交通事故状況

(内は1月分)

	件数	死者	傷者
55年	25 (2)	2 (0)	24 (2)
54年	28	0	30
53年	31	3	32

**新春
特集**

はばたけ…… 年男・年女

産まれる喜び 生きる喜び

宮内 真野美江子 農業



みなさん、明ましておめでとうございます。

今年は酉年、産まれて生きて36年目、ほんとうに月日のたつのは早いものですね。昨年は私にとって、これほど健康のおそろしさ、また、ありがたさを感じた事はありませんでした。いろんな面で、悲しみや喜びが身にしみた年でした。

しかし、考えてみると人生のまんなか、子供たちはもう中学生。今年こそは、健康に十分注意し、私にとって最良の年となりますよう祈らずにはいられません。

昭和20年生まれ

感謝の日々を

中之島第4
岩崎正弥 自営業

私たちの回りには、すべての物が充分すぎるほど満たされているのですが、それでも不足だ、不満だと思う気持ちが、私たちにはあり過ぎるのではないかでしょうか。そういう風ふうに興味や関心がないのではなく、そういう事を考へる話し合いの時間がなくて、現む気持ちの方が多くなりすぎて、現在の淋しい世相を写し出しているようです。

私は、こんな年こそ仕事と生活を通して、お互いに喜べる心と感謝の一日一日でありますよう、努めて行きたいと思っております。

また、中之島村が中之島町になるのが私の夢です。それと合わせて、郷土の益々の発展と、村民が村内の事業に従事できるようになつたらと思ひます。

次ページへ続きます

人の方から、抱負や希望、村に望むことなどを一言づつ寄せていただきましたので、新春特集として四ページにわたり掲載いたします。（敬称は略させていただきます。）

今年も良い年にしたいですね。なお、特集を組んだため、『村民広場』は休ませていただきます。（敬称は略させていただきます。）



ご承知のように消防士は、火災・救急等に伴う救助活動が主な仕事のため、人一倍の体力と精神力が要求されます。そこで今年は、体力増強に重点をおき、野球・ランニング等で汗を流し、肉体の鍛錬と精神の鍛錬をすると共に、今までの自分に欠けていた忍耐力の鍛錬にも、心がけていきたいと思っています。そして、健健康で明るく、村民のためには効果的な人間になるよう、努力したいと思います。

中之島村に住みついて二十一年。村の実態について聞かれても何一つ答える事が出来ません。私に限らず、たぶん村内に住むほとんどの若者達が村の財政状態、農業問題や色々な環境設備などについて聞かれても即答する事が出来ないんじゃないでしょうか。

村に興味や関心がないのではなく、そういう事を考へる話し合いの時間がないのです。中之島村の象徴と誇りでもある「農業と自然」を主体としながら、村民が安心して働ける職場を村内にも誘致し、私達若者が自信を持って住みやすい村だと言える明るい村づくりを望みたいと思います。

……1981年 新春を語る

**新春
特集**

昭和44年生まれ



ぼくの抱負

灰島新田

池上直樹 上通小5年

ぼくの一番の楽しみは、日曜日に川や池でつりをすることです。今年こそ、30センチぐらいのコイをつりたいと思います。

また、ぼくは柔道もやっています。今年は3級に合格するよう、練習にはげみたいと思います。

学校では、野球をしています。ぼくはBチームでしたが、Aチームが村の球技大会で優勝しました。今年はAチームのように、チームワークを良くし、みんなと力を合わせてがんばっていきたいと思います。

今年がんばりたいこと

中野中

浅野章子 中央小5年

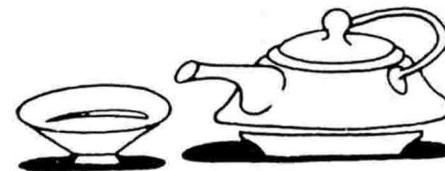


私が今年力いっぱいがんばりたいことは二つあります。

その一つは、毎年行われている球技大会のポートボーラーで優勝することです。それにはまず決められた練習時間を使つて、みんながまとまって練習することが大切だと思います。私は6年生になるのでみんなと協力して進めていきたいと思います。

二つめは勉強のことです。私は特に算数が苦手なので先生の話をよく聞き、習ったものはその日のうちに復習して、忘れないようにしたいと思います。

この二つの事を特にがんばってよい年にしたいと思います。



体力増強を 重点に

本間和宏 消防士

私は、与板郷消防署に勤務して、今年で五年目になります。

明るい 環境づくりを

西高山
羽賀紀由江
会社員

昭和32年生まれ

～第3回中之島村青年スキーの集い参加者募集中～

- 期日／3月7日～8日 ●会場／南魚沼郡六日町ミナミスキー場 ●募集人員／45名
- 〆切／2月28日(土) ●詳細及び参加申込書／中之島村公民館 村上まで ☎6-2002内線30

はばたけ……
…1981年



年男・年女
新春を語る



西年に思う

赤沼 成沢 重夫 農業

常勝日本が負けて終戦、もう36年も前になる。当時、小学校6年生だった私は、大きくなったら軍人になるという目的がなくなった。そして国民学校から昭和23年学制改革で新制中学と、目まぐるしい動きの中で何を求めて歩んだか……。

思えば哀れなヒナ酉誕生であった。それでも当時の酉は、粗食であったが放し飼いをされ、トリ小屋の中を

かけめぐることができた。世の中が一変した、放し飼いの酉も当世流行のバタリーリ式配合飼料をタップリ与えられ、一夜明ければ必ず産卵を強制される。

しかし、振り返ってばかりおれない、48才を避けて通ね問題が山積みしている。空砲に驚いて禁猟区で羽根を休める野鴨になりたくない。自分の羽根を信じて飛び立ちたい。

昭和8年



新年を迎えて

高畠 今泉 朝子 農業

新年おめでとうございます。
私は、昨年から一番苦手な事に挑戦しようと決め、見附の働く婦人の家で毎週一回ペン習字に通い始めました。

左右を見ても私の様に下手な人は一人もおりません。情ない思いをしながらも三月には卒業式ですが、ペン習字だけでなく、いろんなマナーも教えて頂き大変プラスになりました。また、生徒の中に七十才くらいのおばあさんが趣味で習いに来ておられ、時々みんなを笑わせてはとても楽しそうです。必要に迫られてやるのは苦しいものです。今年からは趣味に変えて行こうと決めました。人の噂話しか話題の無いおばあさんにならない様に、今から少しずつ努力して行きたいと思ております。

はばたけ…
…1981年



年男・年女
新春を語る

充実した老後を



猫興野
雪松キセイ(72才)
無職

明治42年生まれ

昨年は身内で不幸があり、最悪の年でした。今年は、昨年の分もあわせて良い年であるよう祈っています。

わたくしのモットーは“観る、読む、書く、聞く、話す”で、楽しみにしているのは村の老人大学講座と旅行、そして、現在450願ほど書き上げた般若心経を、1,000願目標に筆を走らせていることです。

健康には十分気をつけてその日、その日を生き、若い者の重荷にならないよう老後を送りたいと思っています。

西年に思う 参賀記録



狐興野 藤塚 弘 農業

「餅を持って行ってやれや。」と親父に言われ、男子供二人が住込みで働いていた東京へ餅を持って行ったのが、昭和四十四年酉年。子供達は年始に出かけたし、寝正月では……。と、参賀を思い立った。それから始まった私の参賀記録。途中、親父の死去と若夫婦が子供を連れて上京したので二回休んだが、今年も参賀できていなかった。この二桁の参賀記録、どこまで伸ばせて行けるか。七度目の酉年を迎えた恍惚親爺、できる事なら次の酉年までもと思う愚老である。

西年に思う
参賀記録

私も一言

大口 荒川ハナ 無職

年頭に思うこと

下沼新田
安達豊作 農業



明けましておめでとうございます。私も、酉年生まれで、6回目を迎えたわけあります。

さて、我々農村をとりまく情勢は年々きびしく、特に今年は水田利用再編対策の第2期目に当たり、米産村の中之島村にも約15%近い配分があると伝えられています。しかし、食管堅持のためには何としても、この配分目標は達成しなければなりません。

この難關を突破するには転作作物の選択、集団化や団地化に踏み切り、奨励補助金プラス転作作物の収益をいかに上げるかにかかると思われます。

このような事から、今年は農村経済の確保を、真剣に考えなければならないような気がいたします。



に用いられたり、また、ヨーロッパやアジア各地では闘鳥として娯楽用に飼われていたことが多く、どちらかというとオンドリが主役でした。もちろん、肉や卵も食べられていましたが……。ところどころでは、多くの人にとつて卵が朝食に欠かせないものになり、メンドリ主役の時代になりました。特に日本では、このところ卵とトリ肉が物価の優等生として歓迎されています。そのわりには、ニワトリは“集団生活”を強いられるようになってしまった。かといってニワトリのいる動物園は少ないし、ニワトリの声をテレビやラジオでしか聞いたことのない子どもが増えていくよう、ちょっとさみしい気もしますね。ともあれ、よい年でありますように。

それはともかく、ニワトリと人間のつき合いはきわめて古く、インドでは紀元前一七〇〇年頃にはすでに家畜化され、その後各地に広まつたといわれています。ですが、日本には中国、朝鮮半島を経て伝わり、有名な天の岩戸の神話にニワトリが登場しています。天照大神（あまたらすおおみかみ）が、岩戸にたてこもつた時、ほかの神がみが困つて常世の長鳴鳥を鳴かせたりして、天照大神を岩戸から出そうとした時頃と、その前後約二時間で、どうしても夜明けを告げるニワトリにはふさわしくないことであります。また“酉の方角”というのもですが、ニワトリといわゆるものは、昔“酉の刻”といわれた時刻が、今の午後六時頃と、その前後約二時間で、同じ方向に出ていたのです。つまり東の方が似合うように思えるのですが……。

今年は

○2月13日金9:30~13:00
高畠の一部・横山の全部

グッタ一家の家族

から道を歩く人はなく、私はクセでつい吸つたとき、そのたばこを捨てようにもあまりにも回りがきれいなため、しかたなく自分の服のポケットにしまったくらいである。

ルーベックに着いた翌日から四日間は朝六時起床で、朝食後作ってもらった弁当を持って車でバス停へ送つてもらい、バスで研修（農場、農家、農業施設）し、夕方六時頃バス停まで迎えに来てもらい、帰宅するといったスケジュールであり、いかにホストファミリーのお世話になつたか計りしえない。もちろん滞在家庭は無報酬である。

その好意に報いるべく六日目の土曜日の午後、町のスポーツクラブを借り、会場と料理（カレーライス、やきとりなど）の準備をし、全員のホストファミリーを招き、楽しくパーティーを開催した。

ホームステイ最後の日は日曜日、家族と過ごした日はその日だけ。それだけに、その日を鮮明に思い出す。

朝、七時三十分起床。朝食後家族と教会へ。教会には、五、六人の研修仲間が滞在している家族と一緒に参列していた。礼拝と、その日偶然行われた洗礼式に参列したことは、初めての体験であり、宗教の違いと、宗教に対する私自身の不勉強



二月号は、農業編を掲載いたします

と認識不足を感じた。帰宅後食事、終ったのか午後二時すぎ。その後出発のための準備。四時頃、奥さんの焼いたパイ（ドイツでは、菓子はほとんど自家製のものを食べる）で、全員で食事。食後、居間でゲームなどで遊び、八時頃、子供たちは眠りに部屋に引きあげた。私も子供たち一人ひとりの部屋に行き、別れを告げた。その後、昨日の約束通り、パートナーの残りごはんを使い、奥さんと私の二人で焼飯を作り、ゲッター氏と三人で食事をする。終つたら九時を過ぎていたが、その後十一時まで談笑。

一週間という短期間であつたが、言葉より心の触れ合いが大切なのだということを、その時感じた。午後十一時すぎ、眠ることにし、居間を引きあげた。これでホームステイは終つた。翌朝四時起床。軽い朝食後、バス停へ。ゲッター氏と夫人の二人で見送りしてくれた。「出会いがあれば、別れがある」別れのその時、「ダンケ・シェーン」とのことばの他には何も話せなかつた。その時の私は、感謝の気持ちが一杯で、感激していたのである。「ゲッタ一家の皆さん、ありがとうございました。」

新潟県農業士海外研修派遣団の一員として、ヨーロッパ諸国を訪問してこられた横山の大久保武実さんから、感想を寄せてもらいましたので二回にわたり紹介します。

今回は、生活体験についての感想です。

初めに、今回の研修に私が参加できましたことを、関係機関、各位に感謝申し上げます。

さて、十一月二日、一行十七名は日本時間の午後九時三十分成田から、ドイツのハノーバへ飛び立ちました。途中、アンカレッジ（アラスカ）で給油し、約十八時間かかつて到着（ドイツ時間の十一月三日午前十時頃）。

ドイツEIL（国際生活体験協会）のリンデン夫人から暖かい出迎えを受けた後、目的地ルーベ

横山

農業研究
休驗記

(その一)

フランスのベルサイユ宮殿広場



脳卒中や心臓病にかかるためには、なんといつても高血圧と動脈硬化にならないようになることが大切です。そのためには、ふだん次のような点に十分注意しましょう。

ツケまでのバスに乗るため空港を出た。とたん、「ウアーッ」全員が驚きの叫びをあげた。何と気温がマイナス四度だったのです。

そして、バスは目的地ルーベックに着いた。やっぱり寒さは同じで、朝の最低気温はマイナス七度とか。ここで、我々を一週間受け入れるホストファミリーが迎えに来られ、それぞれに別れた。

私の世話になつた「ダッタ一家」は非農家（研修生十七名のうち、約1/3が非農家で残りは農家に滞在した）で、主人三十八才（学校の先生で教会での歴史や道徳を教えていた）、夫人三十六才、長女クリスティーナ十才、長男フローリアン七才、二男ベンジャミン五才の五人家族であつた。家は三階建の白い館で、地下室もある。「さすがだなあ。」と考えさせられたのは、その地下室にジヤム、マーマレード、ピクルスなどの保存食用の食料貯蔵室があることでした。自然災害や戦争などに対する自衛手段だと思うのだが、学ぶ必要があると思う。暖房は、セントラルヒーティングで快適でした。

また、掃除が行き届いており、チリなど一切なし。掃除好きは、町の中も同じ。たばこを吸いなし。

適度な運動を続けよう	肥満をなくそう	酒はほどほどにしよう
散歩や軽い体操など体に合った適度な運動は、生理的によいばかりでなく、精神的な緊張をほぐすためにも効果的です。その日の体の調子に合わせ、長続きするように心がけましょう。	肥満は、心臓に負担をかけ、高血圧のもとになりますから、十分気を配り、一日当たりの摂取カロリーが必要量を超えないように注意しましょう。	肥満は、心臓に負担をかけ、高血圧のもとになりますから、十分気を配り、一日当たりの摂取カロリーが必要量を超えないように注意しましょう。

脳卒中と心臓病の原因

動脈硬

風呂の脱衣場は暖める一方、湯の温度は熱すぎないようになります。浴そう内では水圧の影響も受けるので、十分注意しましょう。

⑤排便の工夫を

便秘は不快感やイライラのもとになり、血圧によくありません。適度な運動と、野菜やくだものなど繊維の多いものを食べ、便秘にならないように。

また、排便のとき、りきむと血圧が上がりますので、なるべく腰かけ式を使用し、ゆっくり時間をかけましょう。

⑥定期的に健康診断を

少なくとも年に一、二回は健康診断を受け、病気の早期発見・早期治療を心がけましょう。

酒は適量を守る習慣をつけました。一週間に一日か二日の“休肝日”を設けるのも、飲み過ぎを防ぐ意味でよいことです。そして、飲むときはタンパク質、脂肪、ビタミン類など“さかな”的の補給をお忘れなく。

①規則正しい生活を

仕事と休養のバランスを考え、疲れがたまらないよう、睡眠をよくとり、規則正しい生活を送りましょう。

②精神の安定を

日常生活での注意

適度な運動を続けよう	散步や軽い体操など体に合った適度な運動は、生理的によいばかりでなく、精神的な緊張をほぐすためにも効果的です。その日の体の調子に合わせ、長続きするように心がけましょう。
肥満をなくそう	肥満は、心臓に負担をかけ、高血圧のもとになりますから、十分気を配り、一日当たりの摂取カロリーが必要量を超えないように注意しましょう。

～冬の道 いそがす あわてず ゆっくりと～

